

全国の循環器科または心臓外科を標榜する病院に通院中の患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは日本循環器学会が実施する循環器診療の実態調査のデータベースを利用して「左心房・左心耳血栓のマネージメント治療に関する研究」を行っています。

【対象となる方】日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設において、2012年4月1日～2022年3月31日の間に入院され、経皮的左心耳閉鎖術、カテーテルアブレーション、または心臓外科手術を受けられた方

【研究課題名】本邦における左心房・左心耳血栓のマネージメント治療の診療実態の解明

【研究責任者】国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター 情報利用促進部 利根川玲奈

【研究の意義・目的】

心臓の「左心房」や「左心耳」という部位に、血栓ができると脳梗塞の原因になるため、カテーテルアブレーションで血栓の原因になる不整脈を停止させたり、左心耳をカテーテルや外科手術で閉塞させたりする治療が行われていますが、本邦では治療内容、転帰に関しての全国規模の報告がありません。

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースを用いて、本邦における左心房・左心耳血栓のマネージメント治療の実態を明らかにし、今後の治療に役立てていくことを目的にしています。

【利用する診療情報】

経皮的左心耳閉鎖術、カテーテルアブレーション、または心臓外科手術を受けられた入院と、その後の再入院において、下記の診療情報を利用いたします。

入院時の年齢、性別、入退院年月日、退院先、退院時転帰、身長、体重、入院時の要介護度、低栄養の有無、摂食・嚥下機能障害の有無、病名、持参薬使用状況、NYHA 心機能分類、入退院時 ADL スコア、チャールソンスコア傷病マスタ、入退院時機能的自立度評価法(FIM)、退院時ランキンスケール、診療行為明細情報（治療内容 [手術名、手術日、処置、処置日]、検査、麻酔、リハビリ、指導、薬剤）、医療費

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究期間】研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

研究で利用する情報は、特定の個人を直ちに識別することができないよう加工されております。研究情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター
情報利用促進部 利根川玲奈
電話 06-6170-1070